

(3) 到達目標及び計画

＜現代人間学部こども教育学科＞(認定課程: 幼一種免)

①各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	1年次前期の最後に履修コースを決めることが出来るようにするため、「こども教育基礎演習」で教育現場の概要を学ぶとともに、「こども教育フィールド研修」で実際の教育現場の観察実習を行い、幼稚園、小学校、特別支援学校、保育所についての理解を深める。また、大学の生活に適応し、自ら学ぶ習慣を身につける。グループ活動を通して、集団での役割とコミュニケーションについて学ぶ。教職に関する基礎的な科目を履修し、現代の教育問題、教師に求められる資質について理解する。また、調査・研究に役立つ統計の基礎を学ぶ。
	後期	履修コースを決める。幼稚園教諭一種免許状を取得できる「幼児教育コース」を選択し、履修計画を立てる。教科に関する科目を中心にバランスよく履修し、教育と保育についての基礎的な理解を深める。また、本学科の特色である特別支援教育の基礎や、調査・研究に役立つ統計の基礎を学ぶ。
2年次	前期	領域に関する専門的事項の科目に加え、保育内容指導法に関する科目の履修を開始し、教育者としての指導力の基礎を身につける。英語に関する科目及び調査・研究に役立つ統計の応用なども履修し、教育に関する資質と教職に関する資質を高める。
	後期	教職に関する科目を中心に、幼児とのかかわり方について学び、指導に必要な技能を身につける。ピアノ、創作活動、運動(安全の指導も含む)などの基礎理論と技術について発展的に学習し、指導力をさらに高める。また、英語に関する科目及び調査・研究に役立つ統計の応用なども履修し、卒業論文を書く時に用いることができるようになる。
3年次	前期	幼児とのかかわり方について学び、指導に必要な技能を身につけ、手遊びや読み聞かせの技能や、ペープサートの作り方等を学び、幼児の豊かな感性や表現する力を導き出せるようにする。さらに、4年次の卒業論文作成に向けて、演習の中で、自らの問題意識を問い直し、研究の手法などを学ぶ。また、特別支援の指導法に関する科目を履修することで、障害者への教育に関しての指導力の基礎を身につける。
	後期	幼児自ら様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮させるための配慮の行き届いた指導を演習から学ぶ。そして、4年次の卒業論文作成に向けて、演習の中で、幼児教育等に関する自らの問題意識を整理し、研究の手法を確かなものにする。また、特別支援の指導法に関する科目を履修することで、障害者への教育に関しての指導力の基礎をさらに身につける。
4年次	前期	6月から9月に教育実習を行う。教育実習事前指導などで、これまで教科に関する科目及び教職に関する科目などで身につけたことを実際の現場でどう生かしていくのか再度確認した上で実習に臨み、事後指導では実習を反省し問題点を討論することで、教育実習を実りの多いものにする。教科に関する科目や教職に関する科目を中心に大学で学んだことを振り返り、幼児教育等に関する自らの研究課題を決定し、卒業論文の作成に取り組む。
	後期	教職実践演習でこれまでの教職課程における学修成果を教育実習等の実践の場を通して振り返る。卒業までの個人の課題を明確にし、課題解決のための道筋を立てる。幼児教育等に関する自らの研究課題について調査・検討し、卒業論文の作成に取り組み、教職に関することを中心に広い視野と考える力、伝える力を身につける。

※ 認定を受けている課程ごとに記載。

<現代人間学部こども教育学科> (認定課程: 小一 種免)

①各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	1年次前期の最後に履修コースを決めることが出来るようにするため、「こども教育基礎演習」で教育現場の概要を学ぶとともに、「こども教育フィールド研修」で実際の教育現場の観察実習を行い、幼稚園、小学校、特別支援学校、保育所についての理解を深める。また、大学の生活に適応し、自ら学ぶ習慣を身につける。グループ活動を通して、集団での役割とコミュニケーションについて学ぶ。教職に関する基礎的な科目を履修し、現代の教育問題、教師に求められる資質について理解する。また、調査・研究に役立つ統計の基礎を学ぶ。
	後期	履修コースを決める。小学校教諭一種免許状を取得できる「初等教育コース」を選択し、履修計画を立てる。教科に関する科目を中心にバランスよく履修し、教育と保育についての基礎的な理解を深める。また、本学科の特色である特別支援教育の基礎や、調査・研究に役立つ統計の基礎を学ぶ。
2年次	前期	教科に関する科目に加え、各教科の指導法の履修を開始し、教職を目指す者としての指導力の基礎を身につける。英語に関する科目及び調査・研究に役立つ統計の応用なども履修し、教育に関する資質と教職に関する資質を高める。
	後期	教職に関する科目を中心に履修し、模擬授業と授業観察を中心に学習を深め、指導方法を理解して実践力を養う。また、介護等体験を通して、指導の視野を広げ、教育実習に向けた個人の課題を明確にする。そして、調査・研究に役立つ統計の応用なども履修し、卒業論文を書く時に用いることができるようにする。
3年次	前期	6月から9月に教育実習を行う。教育実習事前指導で、これまで教科に関する科目及び教職に関する科目などで身につけたことを実際の現場でどう生かしていくのか再度確認した上で実習に臨み、事後指導では実習を反省し問題点を討論することで、教育実習を実りの多いものにする。そして、教職に関する科目で、児童との関わり方、クラス作り等実際に学級担任になったときの指導に必要な知識・技能を身につける。さらに、情報に関する科目やスクールカウンセリング等に視野を広げ、4年次の卒業論文作成に向けて、演習の中で、自らの問題意識を問い直し、研究の手法などを学ぶ。また、特別支援の指導法に関する科目を履修することで障害者への教育に関しての指導力の基礎を身につける。
	後期	教育の歴史に関する科目や、教育評価に関する科目等を履修し、教職に対する視野を広げるとともに、総合的な学習や教科横断型の学習に役立つ科目等を履修することで実践力をさらに高める。そして、4年次の卒業論文作成に向けて、演習の中で、初等教育等に関する自らの問題意識を整理し、研究の手法を確かなものにする。また、障害者への教育に関しての指導力の基礎を身につける。
4年次	前期	今まで学んできた教科に関する科目や教職に関する科目を総合的に活用するための発展的な科目を履修し、将来の教職に備える。また、グローバル化した社会に対応する教育についての視座を持つ。そして、教科に関する科目や教職に関する科目を中心に大学で学んだことを振り返り、自分の研究課題を決定し、卒業論文の作成に取り組む。
	後期	教職実践演習でこれまでの教職課程における学修成果を教育実習等の実践の場を通して振り返る。卒業までの個人の課題を明確にし、課題解決のための道筋を考える。学校教育等に関する卒業論文を作成することで、教職に関することを中心に広い視野と考える力、伝える力を身につける。

※ 認定を受けている課程ごとに記載。

②具体的な履修カリキュラム

①初等教職課程（現代人間学部こども教育学科）（幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状）

科目	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		最低修得単位数 (本学の最低単位数)	左の科目区分等に対応する本学開設授業科目				備考			
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	配当学年 開講期	単位数 幼 小	担当教員				
教科及び教職に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	幼児と健康	2前	1	—	石井 浩子			
			人間関係	幼児と人間関係	2前	1	—	田中 裕喜			
			環境	幼児と環境	2前	1	—	園田 雪恵			
			言葉	幼児と言葉	2前	1	—	廣口 知世			
			表現	幼児と音楽表現 幼児と身体造形表現	2前 2前	1 1	— —	古庵 晶子 藤本 陽三 高田 佳孝			
		領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目									
		領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目									
			保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○保育内容総論	1後	2	—	園田 雪恵			
				○保育内容（健康）	2前	2	—	石井 浩子			
	○保育内容（人間関係）	2前		2	—	田中 裕喜					
	○保育内容（環境）	2前		2	—	園田 雪恵					
	○保育内容（言葉）	2後		2	—	廣口 知世					
	保育内容（音楽表現）	2後	2	—	古庵 晶子						
		保育内容（身体造形表現）	2後	2	—	藤本 陽三					
			高田 佳孝								
		教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	国語	1後	—	2	廣口 知世		
				社会	書写	2後	—	1	丸山 果織		
	算数			社会	1後	—	2	大西 慎也			
	理科			算数	1後	—	2	神月 紀輔			
	生活			理科	1後	—	2	佐藤 真太郎			
	音楽			生活	1後	—	2	大西 慎也			
	図画工作			音楽	2前	—	2	古庵 晶子			
	家庭			図工	2前	—	2	藤本 陽三			
	体育			家庭	2前	—	2	平野 江美			
外国語（英語）	体育			2前	—	2	高田 佳孝				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	外国語（英語）		2前	—	2	喜多 容子					
	○国語科指導法		2前	—	2	廣口 知世					
	○社会科指導法		2前	—	2	大西 慎也					
	○算数科指導法		2前	—	2	神月 紀輔					
	○理科指導法		2前	—	2	佐藤 真太郎					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○生活科指導法	2前	—	2	大西 慎也					
		○音楽科指導法	2後	—	2	古庵 晶子					
		○図工科指導法	2後	—	2	藤本 陽三					
		○家庭科指導法	2後	—	2	平野 江美					
		○体育科指導法	2後	—	2	高田 佳孝					
		○外国語（英語）指導法	2後	—	2	喜多 容子					
		教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育原理	1前	2		2	田中 裕喜	1科目選択必修	
				教育史	2後	2		2	石川 裕之		
				教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	保育者論	1後		2	—	田中 裕喜	1科目選択必修
					教職論	1前		2	2	河佐 英俊	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育と社会			2後	2	2	田中 裕喜	1科目選択必修			
	教育経営論			2後	2	2	河佐 英俊				
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○こどもの教育心理学			1前	2	2	畠山 寛				
	こどもの発達心理学			1後	2	2	畠山 寛				
特別の支援を必要とする容次、児童及び生徒に対する理解	保育心理学演習			2前	1	—	畠山 寛				
	○特別支援教育論（初等）			1後	2	2	太田 容次				
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○保育・教育課程論	3前	2	—	田中 裕喜						
	○教育課程論	2後	—	2	田中 裕喜						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 幼児理解の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○道徳の指導法	3前	—	2	河佐 英俊	△から1科目選択必修				
		○特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3後	—	2	河佐 英俊 大西 慎也					
		△教育方法学 △教育の方法及び技術 教育評価	△教育方法学	3前	1	—	神月 紀輔	△から1科目選択必修			
			△教育の方法及び技術	3後	2	—	東郷 多津				
			教育評価	3後	2	—	廣口 知世				
		△教育方法学 △教育の方法及び技術 教育評価	△教育方法学	3前	—	1	神月 紀輔	△から1科目選択必修			
			△教育の方法及び技術	3後	—	2	東郷 多津				
			教育評価	3後	—	2	廣口 知世				
		○ICT活用教育	○ICT活用教育	3前	—	1	神月 紀輔	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む。			
			○幼児理解の理論と方法	1後	2	—	石井 浩子				
			○生徒指導・進路指導	3前	—	2	網谷 綾香				
		○教育相談の理論と方法	○教育相談の理論と方法	3前	2	2	網谷 綾香				
教育実践に関する科目	教育実習	5(5)	○教育実習事前事後指導	3・4通	1	1	神月 紀輔 河佐 英俊 田中 裕喜 江川 正一 佐藤 真太郎 太田 容次 大西 慎也 高田 佳孝 廣口 知世 藤本 陽三	幼必修 小必修 △から2単位選択必修			
			初等教育実習Ⅰa	4通	2	2					
			△初等教育実習Ⅱa	4通	2	2					
			初等教育実習Ⅰb	3通	2	2					
			△初等教育実習Ⅱb	3通	2	2					
			学校体験活動								
	教職実践演習	2(2)	教職実践演習（幼・小） 保育・教職実践演習（幼）	4後 4後	2 2	2 —	1科目選択必修				
大学が独自に設定する科目	幼14(11) 小2(2)	初等教材開発論	4前	—	2	大西 慎也					
		環境教育	3前	2	2	佐藤 真太郎					
		情報教育	3後	2	2	神月 紀輔					
		食と健康の教育	3後	2	2	住本 純					
		国際理解教育	4前	2	2	渡辺 智美					
介護等体験	2・3通	—	1	太田 容次							
(大学が独自に設定する科目以外の科目の余剰単位)								最低修得単位数（幼37単位、小57単位）を超えて修得した単位数			

○印は免許状取得の必修科目。△印は免許状取得の選択必修科目。

②特別支援学校教職課程（現代人間学部こども教育学科）（特別支援学校教諭一種免許状）

科目	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数(本学の最低単位数)	左の科目区分に対応する本学開設授業科目						備考
			授業科目	配当学年 開講期	単位数	中心となる領域	含む領域	担当教員	
特別支援教育に関する科目	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2(2)	○特別支援教育基礎理論	2前	2			江川 正一	重複・言語・情緒・LD・ADHD
	特別支援教育領域に関する科目	16(16)	○知的障害者の心理・生理・病理	2後	2	知的障害者		丹羽 登全 有耳 丹羽 登 八田 佳奈子 落合 利佳 萩原 暢子 井上 文夫	
			○肢体不自由者の心理・生理・病理	2後	2	肢体不自由者			
			○病弱者の心理・生理・病理	2後	2	病弱者			
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○知的障害者教育論Ⅰ	3前	2	知的障害者		太田 容次	
			○知的障害者教育論Ⅱ	3後	2	知的障害者		太田 容次	
			○肢体不自由者教育論Ⅰ	3前	2	肢体不自由者		太田 容次	
			○肢体不自由者教育論Ⅱ	3後	2	肢体不自由者		太田 容次	
			○病弱者教育論	3後	2	病弱者		江川 正一	
		免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5(8)	○視覚障害者の心理・生理・病理	3前	1	視覚障害者		
	○聴覚障害者の心理・生理・病理			3後	1	聴覚障害者		江川 正一	
	○視覚障害者教育論			3前	1	視覚障害者		田中 良広	
	○聴覚障害者教育論			3後	1	聴覚障害者		江川 正一	
	○障害者教育課程論			4前	2		視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者	江川 正一	
		○LD等教育総論	4前	2	重複・LD等領域		江川 正一 相澤 雅文		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3(3)	○特別支援教育実習事前事後指導	4前	1			} 江川 正一 太田 容次	
			○特別支援教育実習	4通	2				

○印は免許状取得の必修科目。△印は免許状取得の選択必修科目。

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（全学共通）

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目			備考
		授業科目	単位数		
日本国憲法	2	○憲法と人権	2	原島 啓之	2単位選択必修
体育	2	体育講義	1	高田 佳孝	
		体育実技	1	野村 照夫	
		健康スポーツ演習	2	高田 佳孝	2単位選択必修
外国語コミュニケーション	2	日常の英会話	1	Jacques Wilburn Hardy	
		旅行の英会話	1	Jodie Campbell	
		留学の英会話	1	Thomas T. Nishikawa	
		おもてなしの英会話	1	Jodie Campbell	
		ビジネス英会話	1	Eric Hail	
		英語実践（4技能）Ⅰ	1	Jacques Wilburn Hardy	
		英語実践（4技能）Ⅱ	1	Jacques Wilburn Hardy	
		Communication Skills Ⅰ	1	Thomas T. Nishikawa	
		Communication Skills Ⅱ	1	Thomas T. Nishikawa	
		Persuasive Communication	2	小山 哲春	
		Global English Seminar	2	York Weatherford	
		Public Speaking	2	Lyle De Souza	
		Debate	2	小山 哲春	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	AIとデータサイエンス入門	2	北村 美穂子	2単位選択必修
情報機器の操作	2	情報演習Ⅰ a	1	吉田 智子	
		情報演習Ⅰ b	1	吉田 智子	
		情報演習Ⅱ	1	吉田 智子	
		情報処理	2	吉田 智子	

○印は免許状取得の必修科目。△印は免許状取得の選択必修科目。

【こども教育学科（幼稚園教諭）】

年次	主要スケジュール（詳細は掲示板等で確認すること）		教職に関する科目等の標準的な履修年次
1	履修登録時	1年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。	憲法と人権、体育講義、体育実技、健康スポーツ演習、情報演習Ⅰa、情報演習Ⅰb、英語実践（4技能）Ⅰ、英語実践（4技能）Ⅱ 教育原理、保育者論、教職論、こどもの教育心理学、こどもの発達心理学、特別支援教育論（初等）、幼児理解の理論と方法、保育内容総論
	7月頃	履修コース分属ガイダンス	
	12月	教職課程オリエンテーション	
	3月	教職課程オリエンテーション 教育実習予備登録 履修指導	
2	履修登録時	2年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 取得を希望する免許状の「資格申請」をする。	教育史、教育と社会、教育経営論、保育心理学演習、幼児と健康、幼児と人間関係、幼児と環境、幼児と言葉、幼児と音楽表現、幼児と身体造形表現、保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・音楽表現・身体造形表現） 日常の英会話、旅行の英会話、留学の英会話、おもてなしの英会話、ビジネス英会話、情報演習Ⅱ、情報処理
	11月頃	教育実習報告会	
		教職課程オリエンテーション	
	3月	教育実習依頼指導（1） 誓約書提出・実習依頼園申請 教育実習予備登録 教職課程特別講座（履修指導含む）	
3	履修登録時	3年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。 教育実習要件を確認し、前提科目を履修する。	保育・教育課程論、教育方法学、教育評価、教育相談の理論と方法、環境教育、情報教育、食と健康の教育
	4月頃	教育実習依頼指導（2）	
	11月頃	教育実習報告会	
	12月頃	司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）	
	3月	教職課程オリエンテーション 教職課程特別講座（履修指導含む）	
4	履修登録時	4年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。	教育実習事前事後指導、初等教育実習Ⅰa、初等教育実習Ⅱa、保育・教職実践演習（幼）、教職実践演習（幼・小）、国際理解教育
	4月頃	教育実習事前指導 教育実習費の納入	
	4～9月	実習園への通学時間などを調べ、実習園と打合せて実習の準備をする	
	6～9月	教育実習	
	7月～	教員採用試験	
	11月頃	教育実習事後指導 教育実習報告会	
	12月頃	免許状授与一括申請手続 司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）	
	3月頃	教員採用状況調査	
	3月	卒業式後、免許状交付	

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. キャリア教育

8. 履修科目表

9. 他大学等科目の履修について

10. 免許・資格

【こども教育学科（小学校教諭）】

年次	主要スケジュール（詳細は掲示板等で確認すること）		教職に関する科目等の標準的な履修年次
1	履修登録時	1年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。	憲法と人権、体育講義、体育実技、健康スポーツ演習、情報演習Ⅰa、情報演習Ⅰb、英語実践（4技能）Ⅰ、英語実践（4技能）Ⅱ 教育原理、教職論、こどもの教育心理学、こどもの発達心理学、特別支援教育論（初等）、国語、社会、算数、理科、生活
	7月頃	履修コース分属ガイダンス	
	10月頃	介護等体験説明会	
	12月	教職課程オリエンテーション	
	3月	教職課程オリエンテーション 教育実習依頼指導（1） 誓約書提出・実習依頼校申請 教育実習予備登録 履修指導 介護等体験事前指導開始	
2	履修登録時	2年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 取得を希望する免許状の「資格申請」をする。 教育実習要件を確認し、前提科目を履修する。	教育史、教育と社会、教育経営論、教育課程論、書写、音楽、図工、家庭、体育、外国語（英語）、国語科指導法、社会科指導法、算数科指導法、理科指導法、生活科指導法、音楽科指導法、図工科指導法、家庭科指導法、体育科指導法、外国語（英語）指導法 介護等体験 日常の英会話、旅行の英会話、留学の英会話、おもてなしの英会話、ビジネス英会話、情報演習Ⅱ、情報処理
	4月頃	教育実習依頼指導（2）	
	11月頃	教育実習報告会	
	3月	教職課程オリエンテーション 教職課程特別講座（履修指導含む）	
3	履修登録時	3年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。	道徳の指導法、特別活動・総合的な学習の時間の指導法、教育方法学、ICT活用教育、教育評価、生徒指導・進路指導、教育相談の理論と方法、教育実習事前事後指導、初等教育実習Ⅰb、初等教育実習Ⅱb、環境教育、情報教育、食と健康の教育
	4月頃	教育実習事前指導 教育実習費の納入	
	4～9月	実習園への通学時間などを調べ、実習校と打合せて実習の準備をする	
	9～10月	教育実習	
	11月頃	教育実習事後指導 教育実習報告会	
	12月頃	司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）	
	3月	教職課程オリエンテーション 教職課程特別講座（履修指導含む）	
4	履修登録時	4年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。	教職実践演習（幼・小）、初等教材開発論、国際理解教育
	7月頃	都道府県・政令指定都市の教員採用試験	
	11月頃	教育実習報告会	
	12月頃	免許状授与一括申請手続 司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）	
	3月頃	教員採用状況調査	
	3月	卒業式後、免許状交付	

【こども教育学科（特別支援学校教諭）】 ※基礎免許状のスケジュール等も必ず確認しておくこと

年次	主要スケジュール（詳細は掲示板等で確認すること）		教職に関する科目等の標準的な履修年次
1	履修登録時	1年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。	
	7月頃	履修コース分属ガイダンス	
2	履修登録時	2年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 取得を希望する免許状の「資格申請」をする。 教育実習要件を確認し、前提科目を履修する。	特別支援教育基礎理論、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理
	3月	教職課程オリエンテーション 教職課程特別講座（履修指導含む）	
3	履修登録時	3年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。	知的障害者教育論Ⅰ、知的障害者教育論Ⅱ、肢体不自由者教育論Ⅰ、肢体不自由者教育論Ⅱ、病弱者教育論、視覚障害者の心理・生理・病理、聴覚障害者の心理・生理・病理、視覚障害者教育論、聴覚障害者教育論
	12月頃	教育実習依頼指導（1）	
	1月	誓約書提出・実習依頼校申請	
	3月	教職課程オリエンテーション 教育実習依頼指導（2） 教職課程特別講座（履修指導含む）	
4	履修登録時	4年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。	障害者教育課程論、LD等教育総論、特別支援教育実習事前事後指導、特別支援教育実習
	4月頃	教育実習事前指導 教育実習費の納入	
	4～9月	実習校への通学時間などを調べ、実習園と打合せて実習の準備をする	
	6～11月	教育実習	
	7月頃	都道府県・政令指定都市の教員採用試験	
	11月頃	教育実習事後指導 教報告会	
	12月頃	免許状授与一括申請手続 司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）	
	3月頃	教員採用状況調査	
	3月	卒業式後、免許状交付	

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. キャリア教育

8. 履修科目表

9. 他大学等科目の履修について

10. 免許・資格